生成AIを活用したインバウンド観光ガイド育成強化実証事業

現状及び課題、解決策と目指す姿

- 弘前市は、弘前城の桜や四季折々の風景、日本の伝統や文化イベント等優れた観光資源を有している。
- 一方で、ガイドの高齢化や後継者不足、多言語対応の困難、教育コストの負担等の課題を抱えている。これまでも「ひろさきガイド学校」等のガイド育成施策に取り組んできたが、属人的な部分の解消には至っていない。
- 本事業では、生成AIを活用し、多言語の観光案内トークスクリプトの自動生成等に取り組むことで、効率化によるガイド業務の質向上と負担軽減を実現する。
- 最終的には、ガイド育成の仕組みを持続可能なモデルとして確立することで、地域内のガイド人材が着実に増え、それに伴い観光体験の質も向上し、観光満足度の向上にもつながるモデルを創出し、全国への展開を目指す。

事業概要

弘前市において、生成AIを活用した観光ガイド育成支援モデルの実証を行う。地域サイトや観光情報誌等の正確な情報を基に、ガイドらしい魅力のある観光案内トークスクリプトを多言語で自動生成し、ガイド育成と業務効率化を図ることで、人材不足や属人化の課題を解消する。また、生成された観光案内トークスクリプトに対して専門家による品質評価を実施し、品質の担保も行うことで旅行者の満足度向上にも取り組む。成果物はオープンナレッジとして全国のDMOや育成機関に展開可能な形で整備を行う。

取組地域： 青森県弘前市

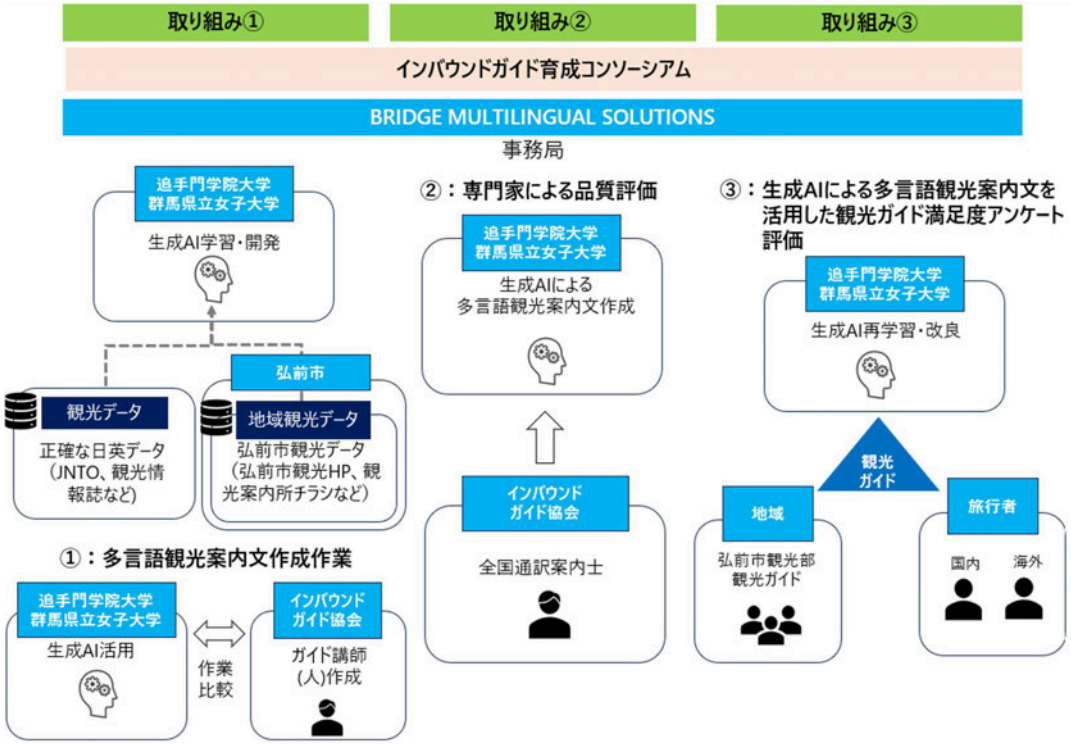
コンソーシアム名： インバウンドガイド育成コンソーシアム

代表事業者： 株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS

実証内容

1. 多言語での観光案内トークスクリプトの自動生成システムの導入
2. ガイド業務の効率化と品質の向上に向けた、トークスクリプトの活用促進

目標値

KGI ガイド支援業務の効率化実現(50%削減)

KPI 生成AI作成スクリプトの専門家評価スコア(平均80%以上)